

Mysterious / Naifu

GZCA-7129 1050円

「本腰を入れて打つフィニッシュブロー（志音）」という、昨年11月リリースのセカンドシングル。期待を裏切らないメロディラインとザクザクギターリフ。レーベルの得意技（と書くこと変な表現かもしれないが）の中に、ガッツリディストーションでギターブリークの耳を奪うギターソロや変調など、メロディメーカー志音の「音楽理論」が山積



取材・文／竹中 聡(本誌) 撮影／林川 淳

Naifu

既知であったELFの元ボーカル荒神直規 (Vo./Gt.・写真中右)、山口篤(Dr./Vo.・写真左)、村上風麻 (Ba./Vo.・写真右)と、メロコアシーンで絶大な人気を誇った「MR.ORANGE」や「SCHON」そして活動する森下志音(以下、志音) (Gt./Vo.・写真中左)によって結成。大阪のライブハウスを中心にライブ活動を始め、'08年「Take The Wave」でメジャーデビュー。2月4日には3rdシングル「恋心 輝きながら」をリリース <http://www.naifu.jp/>

PPS

POWER PLAY SOUND
Music is moistened our life. Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

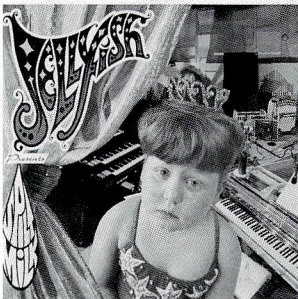


recommend 01

ESCAPE / JOURNEY

輸入盤

リコメンドも全て志音より。両親の影響で聴き始めた、というか「生まれる前から聴いてた」系。メロディラインやアレンジについて、大きくインスパイアされたという。「ジャーニーはロックロールだ」という持論あり、というところで2枚目に続く

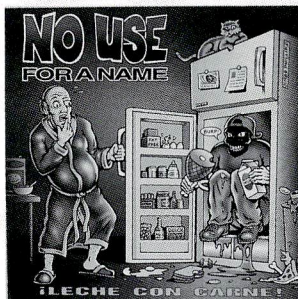


recommend 02

SPILT MILK / JELLY FISH

東芝EMI 1750円

「JOURNEY」とリンクする、ビートルズとクイーンをつないでくれた1枚だそう、当初好きではなかったクイーンを深く知っていくきっかけになったという。ややマイナーではあるが、サウンドチェックに使われるほど、業界筋では評価が高い1枚



recommend 03

! LECHE CON CARNE! / NO USE FOR A NAME

輸入盤

殿堂入り級のプレステージ・ロックばかりでなく、「メロコア」という志音にとって重要なキーワードを体現する1枚で、ありながら、このバンドが'70や'80メロディもリスペクトしているところも、志音を惹きつけるのかもしれない

期待を裏切らないメロディラインに隠れた 予想を裏切る音楽理論のトレジャーボックス

ヒットメーカーであるレーベルによる、ヒットメイクに不可欠なタイアップナンバー。白状してしまうと、試聴盤を手にした時点では、あまり期待していなかった。結局、その高い実力を痛いくらい思い知ることになるのだが、その理由はこのバンドの場合、理論（ギミックといっても良い）がキモなのではないだろうか。

タイトル曲よりも、カップリング曲である「I'm still on my way」に、むしろこのバンドの神髄があるのではと予想して、「大陸の匂いがした」というインプレッションをぶつけたときに、作曲を担当する志音から返ってきた答えは、「狙い通りで嬉しいです」であった。しかも余裕の笑みをつけて。こちらが「こんなインプレッションが出てくるとは思わなかったのでは？」という渾身の質問が、何のことはない、アッサリ術中にはまっていたわけで、その時点で完敗である。

小学3年生からギターを始め、'80~'90年代の洋楽、それもガズアンドローゼスやメトリカといった「炎でドロク」なハードロックが青春サウンドだという志音。高

いギターテクニックを磨いた後に、多大な影響を受けたというクイーンやビートルズ。彼らは、ロジカルなアプローチで楽曲を生み出し続けた偉大なミュージシャンである。感情だけで曲はつくりださず、できあがった曲は感情に問かける。そのために必要なのが理論であり、理論はアレンジに干渉し、アレンジされた曲はスピーカーから湧き出る音として、その音が形成する立体的な空間として、世界をつくる。その世界に身を置く聴衆が夢想する風景、そこを考へて（時に計算して）いる。その出来上がり耳に残るキャッチーなサウンドとして成り立つ、ある種の矛盾…。

少々大げさな表現かもしれないが、きっとシド・ヴィシャスやブライアン・ジョーンズのような天才タイプではない。だが彼らにも、つくりたくてもつくりださなかった曲があったはずだ。Naifuの曲は、そういう曲なのではないか。

難しくてはいけない。だが、イージーもだめ。そんなG線上の、そのまた天秤の上でバランスしている、そんな曲であり、そういう芸当が可能なバンドである。